

議員討論会

人口減少を止めるには 2060年には人口6800人



町がまとめた将来人口推計では、25年後の2040年の大山町の人口は、今よりも約6千人減の1万439人になる見込みとなりました。人口減少をいかに食い止めるか、議員討論会を行いました。



〔杉谷〕西部市
町村で連携し、都会からの

人口流入を図るべき。そのために、働く場所の確保、住宅、子育て環境の整備が必要。西部一帯でにぎわいができ、地域の活性化につながる。国の研究機関、企業の地方移転が進むよう国も施策を進めるべき。



〔野口昌〕人口減が止まったフランスでは、

結婚せず同棲する若者を世間が認めている。若い男女が一緒に生活することで、子どもができる。我々もそういう文化を認め、若者が同棲できるような若者住宅を整備すべき。

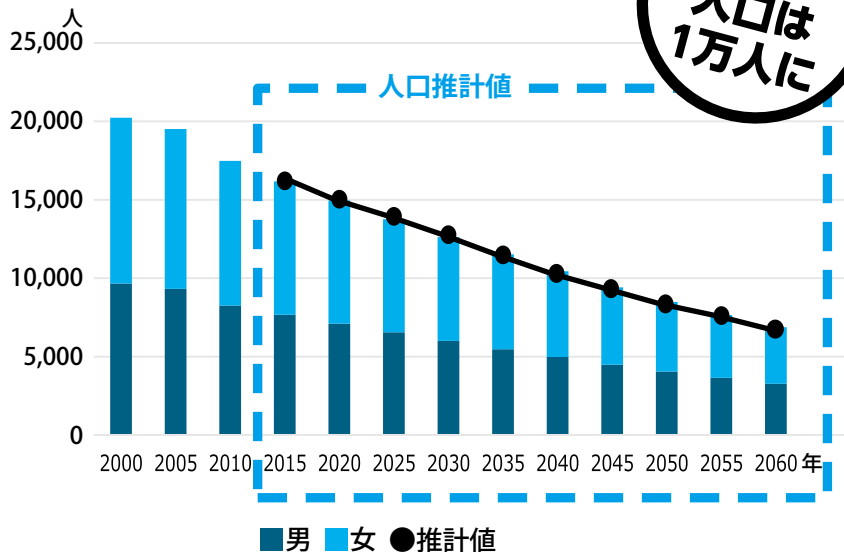


〔西尾〕フランスは、出生率をアップさせるために、子育て費用の無償化を

し、また、子どもが大事で、子どもがいる生活が有意義であることを若者に教育し

25年後
人口は
1万人に

総人口の見通し



大山町の将来の人口は、現状のまま人口減少が進めば、2040年代に1万人を下回ると予測される。その後もさらに人口減少は進み、2060年には、現在より約1万人減の6864人と推計された。

た。日本も見習わなければならない。



〔大塚〕首都圏では10年後に介護需要が増

え、施設と人材が不足し、介護難民は175万人になる。本町は自然や、スポーツ環境

に恵まれていることを売りに、高齢者や若者の移住を推進すべき。



〔大森〕結婚・出産・子育てが

の整備が必要。雇用の確保、賃金の保障、残業を減らす